

1 年 D 組 外国語科 単元設計・学習指導案

指導者 河野 操

1 日時（場所） 12 月 14 日（火） 11:50～12:40（1 年 D 組教室）

2 単元設計（単元名:Unit 9 Think Globally, Act Locally）

(1)本単元で育成したい自立と共生の力

- 物事を多様な観点から捉え，問題の本質を見抜く力
- 自分の気持ちや考えを表現し，伝える力
- 多様な価値観を認める力

(2)単元目標

- want (try, need) to 不定詞や look＋形容詞を用いた文の構造や意味を理解し，国際協力で自分がしたいことなどについて伝え合う技能が身に付いている。 [知識及び技能]
- 国際協力でしたいことについて，簡単な語句や文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。 [思考力, 判断力, 表現力等]
- 世界の現状や国際協力について得られた知識や情報をもとにして，意見や感想を伝え合おうとしている。 「学びに向かう力，人間性等」

(3)重点目標

<本質的な問い>

自分がしたいことなどの思いや意見を述べるには，どのような表現を使うとよいのだろうか。

<永続的な理解>

want (try, need) to 不定詞を使えば，自分がしたいこと，しようとしていること，する必要があることを相手に伝えることができる。

(4)単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
want (try, need) to 不定詞や look＋形容詞を用いた文の構造や意味を理解し，国際協力で自分がしたいことなどについて伝え合う技能を身に付けている。	世界の現状や国際協力について得られた知識や情報をもとにして，意見や感想を伝え合っている。	世界の現状や国際協力について得られた知識や情報をもとにして，意見や感想を伝え合おうとしている。

(5)評価の方法

パフォーマンス課題	その他の評価方法
あなたはある国際協力・交流イベントに参加します。自分が興味のあるブースに行って，見たり聞いたりして情報を収集したことをもとに，姉妹校のオーストラリアセントアンドリュース校の中学生と意見交換をなさい。	○課題追究状況の観察 ○ワークシート ○振り返りシート

＜パフォーマンス課題についての予備的ルーブリック＞

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	場面に応じた適切な表現や単語を用いて、聞き手に分かりやすく話すことができる。	国際協力・交流について見たり聞いたりして分かったことを紹介しながら、自分の意見を付け加えてやり取りしている。	国際協力・交流について見たり聞いたりして分かったことを紹介しながら、自分の意見を付け加えてやり取りしようとしている。
B	場面に応じた適切な表現や単語を用いて、話すことができる。	国際協力・交流について見たり聞いたりして分かったことを紹介している。	国際協力・交流について見たり聞いたりして分かったことを紹介しようとしている。
C	「B」を満たしていない	「B」を満たしていない	「B」を満たしていない

(6)指導計画（全 10 時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準（評価方法）
1	・ want (try, need) to 不定詞の文構造を理解し、運用する。	知		・ want (try, need) to 不定詞の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
2	・ want (try, need) to 不定詞を使った疑問文の文構造を理解し、運用することができる。	知		・ want (try, need) to 不定詞を使った疑問文の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
3	・ look + 形容詞の文構造を理解し、運用する。	知		・ look + 形容詞の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
4	・ Unit9 Story①の内容を理解し、音読する。	思		・ 本文内容の概要や要点を理解している。 （ワークシート）
5	・ Unit9 Story②の内容を理解し、音読する。	思		・ 対話の内容から、国際協力について概要を理解している。 （ワークシート）
6	・ Unit9 Story③の内容を理解し、音読する。	思		・ ステージ発表の内容から、世界の現状について理解している。 （ワークシート）
7	・ Unit 9 のイラスト描写と要約に取り組む。	思	○	・ 本文の内容を把握し、ピクチャーカードを使って、英語で概要を説明している。 （ワークシート）
8	・ SDGs や国際協力について資料を収集し、考えを深める。	知 思	○ ○	・ SDGs や国際協力について資料を収集したり、英語で書いたりしている。 （ワークシート）
9 本時	・ 国際協力について紹介する。 ・ 国際協力について自分がしたいことを述べる。	知 思	○ ○	・ 国際協力や SDGs を踏まえて世界の現状について簡単に紹介することができる。 （ワークシート） ・ 自分がしたい国際交流について、意見交換をすることができる。 （ワークシート）
10	・ パフォーマンス課題に取り組み、意見交換をする。	知 思 態	○ ○ ○	・ 課題に沿って、国際協力について意見交換ができています。 （パフォーマンス）

3 本単元と研究主題との関わり

(1) 生徒について

本学級の生徒（男子 16 名，女子 16 名）の内，約 7 割が「日本語の文法と違うのが面白い」，「英語を使う場面を想像するとワクワクする」などの理由から，英語が好きであると答えている。また，英語の学習で身に付けたい力として，「相手とやり取りをしながら会話を楽しむコミュニケーション力」が多数挙げられていた。授業開始当初の英語の学習から，生徒たちは英語を話すことに対して抵抗なく取り組んでいて，知っている単語を自然に言える力が身に付いているように思われる。このことは，小学校での外国語学習の成果と捉えることができる。よって，小学校で慣れ親しんだ英語を「聞く」「話す」力を生かしながら，新出文型を体系的に学習し語彙力を高め，表現力を向上させたい。そして，中学校の英語学習内容に主体的に取り組む態度を育成していきたい。

(2) 単元について

本単元では，新出文型として，want (try, need) to 不定詞の文構造を理解し，運用する。また，look + 形容詞を理解し，表現できる構造になっている。自分のしたいことや人や物の様子を説明するのに役立つ表現となっている。

国際協力の視点で世界の現状を紹介したり，活躍している人物を紹介したりする内容となっており，SDGs を踏まえて自分の考えを持ったり，自分がしたいことを述べたりするのに適している。また，内容については，「世界で活躍する自分を紹介しよう。」「See the world.」，文構造については，「I have a dream.」等で小学校 6 年生の外国語の学習と関連があり，小中のつながりを生かせる単元となっている。

そこで，次の二つの学習を保障したい。

ア 新出文型を使って自分がしたいことを表現できる学習

小学校の外国語では，すでに want to 不定詞を学習し，表現活動に取り組んでいる。中学校では，文構造の定着を図るために，自分の行きたい国やそこでしたいことを使って発表したり，資料や写真から読み取れたことを報告したりすることができるようにさせたい。そのために，適切な場面設定を行い，書いたり話したりする活動を充実させたい。

イ 異国に対する理解と違いを知る興味深さを実感する学習

住んでいる国や地域によって，経済的課題や発展途上などの現状に違いがあることに気付かせ，違いに対して柔軟に対応できる見方・考え方を養いたい。また，たとえ違いがあっても，共通して取り組むべき課題や守るべきものがあるという認識を持たせたい。

(3) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

「深い学び」では，「活用」「探究」「問題発見」「問題解決」「気づき」などが活動に含まれることが重要となる。主体的・対話的で，深い学びを目指すためには，生徒が興味・関心のある題材について自分の思いや考えを伝え合う活動の設定が大切である。このような活動を設定するために，既存の知識や経験を生かしたり，すでに小学校の外国語で使用したことのある単語や表現を使わせたりしながら，特に次の点に留意したい。

新出文型の導入や内容理解の場面で，生徒同士，指導者とのやり取りを大切に，豊富なやり取りの場면을十分に設定したいと考えている。その際に，5W1H を使った質問をしたり，感想，意見，第一印象，推測したことなどを言わせたりしながらやり取りを進めることを意識させたい。また，やり取りを充実したものにするために，「描写力」と「表現力」を向上させることが有効であると考えている。授業では，帯活動で，picture describing に取り組ませたり，生徒たちに教科書の挿絵について説明させたりしたい。そうすることによって，語彙が増えたり，表現の幅が広がったりして，本文の内容を自分なりにアレンジしながらまとめる力につながっていくとともに，Show & Tell のようなスピーチにも抵抗なく取り組ませることができる。と考える。

4 本時の指導（9 / 10 時間）

(1) 主題

自分ができる国際交流について考え、発表し合おう。

(2) ねらい

○国際協力や SDGs を踏まえて世界の現状について簡単に紹介することができる。

○自分がしたい国際交流について、意見交換をすることができる。

(3) 展開

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◎評価規準（評価方法）
1 Warm-up （全体）	5	○世界の現状が分かる写真を見て、分かることを英語で述べる。 ・ They look happy. ・ They can get water.	○授業を活性化させるために、自由に発言させる。 ○リテリングに取り組みやすくするために、教科書本文の写真を使用する。
学習課題：自分がしたい国際交流について考え、発表し合おう。			
2 内容理解 （個人→全体）	10	○本文の内容を理解し、音読する。 ・ リテリングに取り組む。 ・ 写真のセリフを考えたり、質問を考えたりする。 ・ SDGs の中でどのゴールに該当するかを考える。	○単語や表現が後の活動に生かされるように、しっかりと練習させる。
3 話題についてのやり取り （グループ）	15	○国際協力を話題にし、自分がしたいことについてやり取りをさせる。 ・ 写真などを示しながら、SDGs を考慮し、世界の現状について簡単に紹介する。 ・ 聞いた内容について質問したり、それに答えたりする。	○相手に伝わるように、簡単な単語、短い英語で説明させる。 ◎国際協力や SDGs を踏まえて世界の現状について簡単に紹介することができる。（ワークシート） ○話題を深めるために、質問も交えて友達とやり取りをさせる。
	10	○興味・関心があること、したいこと、できることを踏まえて、18 番目のゴールを考える。 ・ What are you interested in? ・ What do you want to do? ・ What can you do?	◎自分がしたい国際交流について、意見交換をすることができる。（観察）
4 活動内容の共有 （全体）	5	○興味深かった点やよかった点を発表させる。 ・ I'm very interested in international problems. ・ I could talk about my action.	
5 振り返り （個人）	5	○振り返りシートに取り組みさせる。 ・ 本時の学習を振り返り、次の活動に生かす。	○次時の活動に生かせるように、しっかりと振り返りをさせる。
授業研究の視点		○やり取りの場面で、感想、意見、第一印象、想像したことなどを言わせることが、「描写力」と「表現力」を向上させることになっていたか。 ○picture describing を行うことが、語彙を増やしたり、表現の幅が広がったりして、簡単なスピーチに抵抗なく取り組ませることができていたか。	